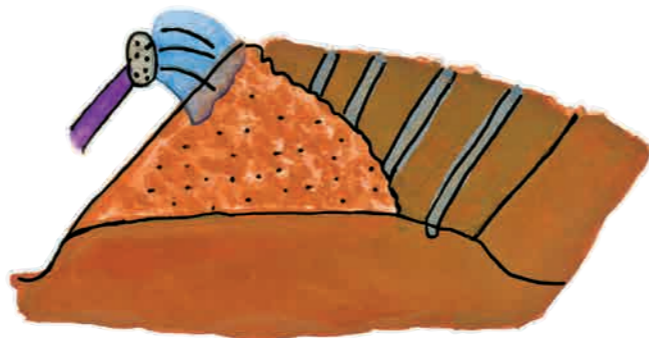


2 種まき



板切れで15cm間隔に、幅2cm、深さ1cmくらいのみき溝をつけて、1.5~2cm間隔に種をまき、1cmの厚さに覆土し軽く押さえます。

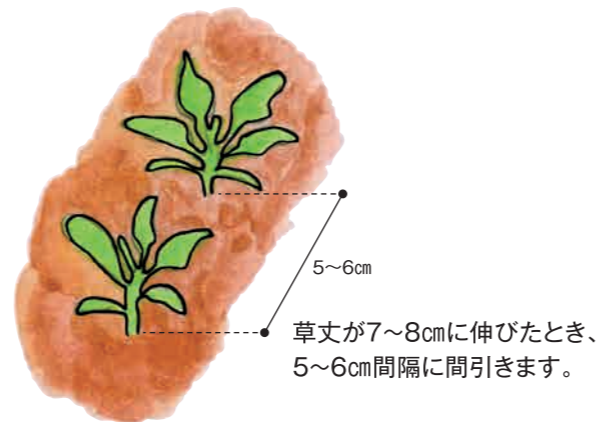


覆土したあと、畝の下まで届くようにたっぷり灌水します。発芽は15~20℃で最も良く、25℃以上になると発芽率は著しく低下します。

3 追肥・間引き



追肥は、播種後25~30日後に行ないます。苗と苗の間に、手で化成肥料をまき、三角鍬で土を寄せます(1㎡当たり50~100g)。



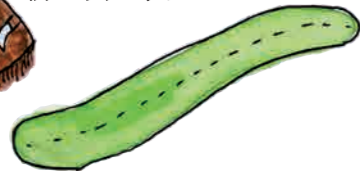
草丈が7~8cmに伸びたとき、5~6cm間隔に間引きます。農薬散布による防除は、草丈が10cmほどの時に1回、それ以降は作物の状態や収穫前日数を考えて農薬を散布します。

4 害虫に注意



シロオビノメイガ

成虫:翅開帳20~25mm。翅は茶褐色で、前翅の中央部には白い帯状の斑紋があります。



成熟幼虫:体長約15mmで、淡緑色。葉を曲げて糸を張った葉裏や、葉を2~3枚つづり合わせた中に生息します。

ハスモンヨトウ

成虫:体長約20mm。よく見ると翅に縞模様があります。



幼虫:若齢幼虫は集合して加害しますが、3齢幼虫からは分散して加害するので、食害量も大きくなります。体色は白~黒まで変化に富んでいます。

5 収穫

草丈が25cm程度になったら収穫します。通常流通しているものよりも大きく、30cmくらいにすると本当の味が楽しめます。



寒さについて

12月以降の霜が降りる頃、露地ホウレンソウは葉が縮みます。寒さに当たることにより、糖度が増えて甘みの強い、おいしいホウレンソウが楽しめます。

家庭菜園 教室

今日は
ホウレンソウ

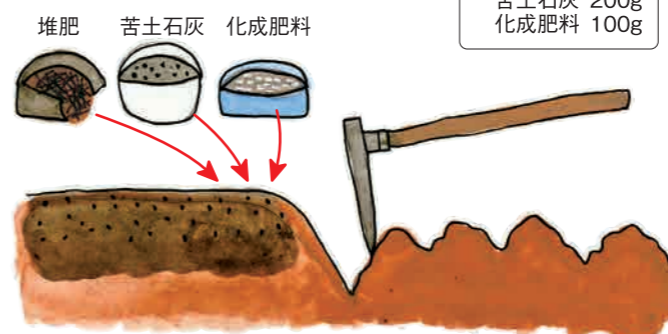


葉物の定番野菜の1つ、ホウレンソウ。暑さに弱いので、これから種をまくのがぴったりです。寒い時期に収穫するのがおすすめです。

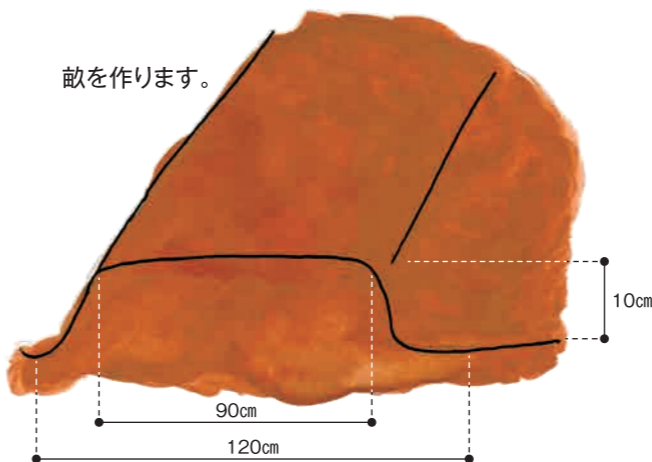
1 畑の準備

植えつけの約2週間前に、畑全面に堆肥、苦土石灰、化成肥料をまいて深く耕します。

●目安 1㎡当たり
堆肥 2~4kg
苦土石灰 200g
化成肥料 100g

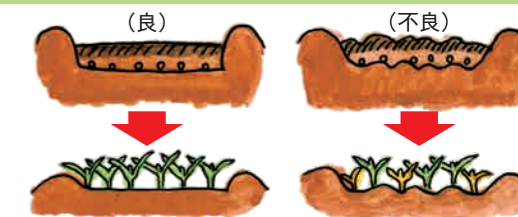


畝を作ります。



酸性土壌では育ちが悪く、葉が黄変したり、不ぞろいになったりします。pH6.5~7が適性です。

ポイント 畝の表面は平らにしましょう。



まき溝の底面が平らで覆土の厚さが均一だと、発芽や生育が良く揃います。まき溝の底面がでこぼこしていたり、覆土の厚さにむらがあると、発芽や生育が不ぞろいになります。



排水不良のところは立ち枯れが出やすいので、水溜まりができないようにしましょう。

♣栽培カレンダー

秋まき栽培	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					種まき							
							収穫					